



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社ファインシスター
コード番号 5994

上場取引所

東・名

URL http://www.fine-sinter.com

代表者 (役職名) 代表取締役
社長執行役員 (氏名) 井上 洋一問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355

四半期報告書提出予定日 2019年8月6日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,233	5.4	216	△7.6	138	△36.2	0	△99.4
2019年3月期第1四半期	9,709	6.4	234	15.9	217	20.3	24	△66.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △218百万円(-%) 2019年3月期第1四半期 4百万円(△98.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.04	—
2019年3月期第1四半期	5.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	47,193	18,497	34.7	3,726.03
2019年3月期	46,839	19,002	35.6	3,793.93

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 16,398百万円 2019年3月期 16,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	30.00	70.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	4.6	920	52.6	760	43.5	440	35.0	99.97
通期	41,000	1.2	2,300	34.0	2,000	29.8	1,100	34.7	249.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	4,420,000株	2019年3月期	4,420,000株
2020年3月期1Q	18,975株	2019年3月期	18,935株
2020年3月期1Q	4,401,035株	2019年3月期1Q	4,401,384株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は10,233百万円と前年同四半期に比べ524百万円(5.4%)の増収、営業利益は216百万円と前年同四半期と比べ17百万円(7.6%)の減益、経常利益は為替差損の増加等で138百万円と前年同四半期と比べ78百万円(36.2%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円と前年同四半期と比べ24百万円(99.4%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、前年度に立上げた新規品による増収効果があったものの、中国子会社での市場減速に伴う売上減少、米国子会社での要員確保難による生産非効率、国内子会社での品質確保による追加費用等が利益を圧迫しました。一方、鉄道車両用部品につきましては、2016年度新規開発の新幹線用ブレーキライニングの搭載車両増加継続により売上増となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,769百万円と前年同四半期と比べ515百万円(5.6%)の増収となり、セグメント利益につきましては、660百万円と前年同四半期と比べ18百万円(2.9%)の増益となりました。

②油圧機器製品事業

手術台向け及び介護機器向け製品の売上は得意先の一時的な在庫調整等により減少となりましたが、アジア地域向けのデンタルチェア用製品の売上は拡販活動の成果で大幅に増加となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は461百万円と前年同四半期と比べ7百万円(1.8%)の増収となり、セグメント利益につきましては、127百万円と前年同四半期と比べ8百万円(7.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比419百万円増)等により、18,825百万円(前連結会計年度末比289百万円増)となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の増加(前連結会計年度末比47百万円増)等により、28,368百万円(前連結会計年度末比64百万円増)となりました。

以上により、資産合計は47,193百万円(前連結会計年度末比354百万円増)となりました。

流動負債につきましては、賞与引当金の増加(前連結会計年度末比476百万円増)、短期借入金の増加(前連結会計年度末比223百万円増)等により、18,617百万円(前連結会計年度末比584百万円増)となりました。固定負債につきましては長期借入金の減少(前連結会計年度末比447百万円減)があるものの、当連結会計年度期首からのIFRS16号適用による、リース負債の増加(前連結会計年度末比631百万円増)等によって、10,078百万円(前連結会計年度末比275百万円増)となりました。

この結果、負債合計は28,696百万円(前連結会計年度末比859百万円増)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が129百万円減少、その他の包括利益累計額が169百万円減少したことにより、非支配株主持分を除くと16,398百万円(自己資本比率34.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月25日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,942,520	4,362,123
受取手形及び売掛金	8,018,414	7,494,956
電子記録債権	1,232,969	1,243,161
商品及び製品	909,344	978,613
仕掛品	1,629,887	1,686,273
原材料及び貯蔵品	2,440,091	2,499,434
その他	363,033	561,321
流動資産合計	18,536,261	18,825,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,550,330	13,480,497
減価償却累計額	△8,192,575	△8,183,865
建物及び構築物(純額)	5,357,755	5,296,631
機械装置及び運搬具	46,725,254	46,610,351
減価償却累計額	△34,221,617	△34,355,512
機械装置及び運搬具(純額)	12,503,636	12,254,839
工具、器具及び備品	5,633,601	5,794,066
減価償却累計額	△4,501,174	△4,680,500
工具、器具及び備品(純額)	1,132,427	1,113,565
土地	3,558,768	3,559,515
リース資産	493,363	1,194,861
減価償却累計額	△355,958	△385,655
リース資産(純額)	137,404	809,206
建設仮勘定	1,818,089	1,522,183
有形固定資産合計	24,508,082	24,555,940
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	75,181	67,107
その他	247,960	239,185
無形固定資産合計	334,550	317,700
投資その他の資産		
投資有価証券	2,110,117	2,109,134
長期貸付金	7,026	7,478
繰延税金資産	1,262,803	1,301,937
その他	84,945	80,270
貸倒引当金	△4,432	△4,432
投資その他の資産合計	3,460,460	3,494,388
固定資産合計	28,303,093	28,368,029
資産合計	46,839,355	47,193,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,268,403	3,286,640
電子記録債務	2,897,899	2,877,037
短期借入金	6,664,810	6,888,043
1年内返済予定の長期借入金	1,597,603	1,579,491
リース債務	85,420	134,367
未払法人税等	186,291	189,340
未払消費税等	137,487	182,391
未払費用	658,474	692,797
賞与引当金	923,852	1,400,423
役員賞与引当金	41,973	12,400
設備関係支払手形	156,750	134,570
営業外電子記録債務	633,835	498,888
その他	780,945	741,403
流動負債合計	18,033,748	18,617,796
固定負債		
長期借入金	5,114,250	4,666,849
リース債務	154,078	785,402
繰延税金負債	16,365	16,052
役員退職慰労引当金	98,863	116,449
退職給付に係る負債	4,079,840	4,153,825
資産除去債務	336,128	337,598
その他	3,708	2,284
固定負債合計	9,803,234	10,078,462
負債合計	27,836,983	28,696,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,721,609	1,721,609
利益剰余金	11,814,260	11,684,457
自己株式	△30,584	△30,677
株主資本合計	15,708,286	15,578,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,809	869,452
為替換算調整勘定	299,792	129,216
退職給付に係る調整累計額	△181,568	△178,718
その他の包括利益累計額合計	989,033	819,950
非支配株主持分	2,305,052	2,099,314
純資産合計	19,002,372	18,497,654
負債純資産合計	46,839,355	47,193,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,709,882	10,233,980
売上原価	8,405,319	8,917,020
売上総利益	1,304,562	1,316,959
販売費及び一般管理費	1,070,397	1,100,549
営業利益	234,165	216,410
営業外収益		
受取利息	2,531	4,133
受取配当金	28,571	31,856
作業くず売却収入	10,824	7,682
雑収入	25,898	9,853
営業外収益合計	67,825	53,526
営業外費用		
支払利息	62,148	78,877
固定資産除却損	8,866	25,908
為替差損	7,160	23,110
雑支出	6,191	3,087
営業外費用合計	84,366	130,984
経常利益	217,625	138,951
税金等調整前四半期純利益	217,625	138,951
法人税等	108,668	102,643
四半期純利益	108,957	36,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	84,720	36,152
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,236	155

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	108,957	36,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,784	△1,356
為替換算調整勘定	△114,966	△256,626
退職給付に係る調整額	25,290	2,849
その他の包括利益合計	△104,460	△255,134
四半期包括利益	4,496	△218,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,179	△170,310
非支配株主に係る四半期包括利益	50,675	△48,515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産が666百万円増加し、流動負債が49百万円及び固定負債が632百万円増加しております。また、当第1四半期連結損益計算書において経常利益及び税金等調整前四半期純利益が15百万円減少しております。

(セグメント情報)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,253,853	453,241	9,707,094	2,787	9,709,882	—	9,709,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,253,853	453,241	9,707,094	2,787	9,709,882	—	9,709,882
セグメント利益	642,177	119,093	761,271	1,412	762,683	△528,517	234,165

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△528,517千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,769,774	461,217	10,230,991	2,988	10,233,980	—	10,233,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,769,774	461,217	10,230,991	2,988	10,233,980	—	10,233,980
セグメント利益	660,811	127,819	788,630	1,775	790,406	△573,995	216,410

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△573,995千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。